

3学期始業式

1月8日(水)第1校時に3学期の始業式を行いました。校長式辞で次のような話をしました。

2020年、令和2年がスタートしました。今年は、ビッグイベントオリンピックイヤーです。東京オリンピック、パラリンピックが7月から9月にかけて開催されます。前回、東京で行われたオリンピックは、1964年でしたから56年ぶりに日本で夏のオリンピックが開催されることとなります。1964年の東京オリンピックのとき、私は、4才でしたが、裸足で走ったマラソン優勝のアベベ選手や東洋の魔女と言われた女子バレーボールの優勝、重量挙げの三宅選手の金メダルなど記憶に残っています。当時は、まだテレビがある家は少なかったので、祖父母の家に行ってみせてもらったものです。一生に一度めぐり合うかどうかの夏季オリンピックです。ぜひ、みなさんも楽しんでほしいと思います。そして、この中から、次またはその次のオリンピックに出場する選手が出てくることを期待しています。

さて、今年度、「統合元年」、「新生山中」、「一致協働」の合言葉を掲げている取り組みができましたが、いよいよ3学期となりました。3学期は実りの時期、まとめの時期です。まとめをがんばることを表現した言葉に、「終わりよければすべてよし」「有終の美を飾る」などがあります。令和最初の年度、総合元年度の締めくくりの学期を皆さんとともにがんばりたいものです。

そこで、3学期は、「集団として、有終の美を飾ろう」をテーマにがんばってほしいと願っています。集団と言っても学校生活ではいろいろあります。学級という集団があります。学年という集団があります。部活動という集団があります。委員会という集団があります。ほかにもあると思いますが、3月までに自分が所属する集団を「このクラスでよかった」「この学年で良かった」「この部活動でよかった」「この委員会でよかった」と全員が感じられるような集団にしてほしいということです。学校は、学問以外に集団生活を学ぶところでもあります。2学期まで一緒に過ごして、それぞれの集団に対して不満があった人がいるかもしれません。しかし、残すところ3か月しかありません。せっかくめぐり合った仲間、友達と一致協働して、みんなが「よかった」と思える集団にして来年度を迎えようではありませんか。まずは、挨拶をみんなで頑張りましょう。集中して授業や活動に取り組みましょう。「終わりよければすべてよし」といいます。3年生は、卒業式の日までに、1、2年生は修了式の日までに、一人一人の違いを認め、どんな理由があっても人を差別したり、人を傷つけたり困らせたりするようなことがなくなるように団結を強めていきましょう。山鹿中学校人権宣言にあるように、「いじめや差別を絶対に許さない」という強い気持ちを一人一人が持って、よりよい集団となって卒業、進級していきましょう。まずは、挨拶から全員でがんばりましょう。

統合元年度はもうすぐ終わります。3学期は、「集団として、有終の美を飾ろう」をテーマに、挨拶の徹底を中心に、各学級、学年、各部活動、各委員会、そして新生山中全体が仲良くかけがえない集団となることを期待して式辞とします。

自分の言葉に思いやりを持つ!

「自分の言葉に思いやりを持つ」これは、始業式で生徒会から提案された3学期の目標です。具体的には、①コミュニケーションをとる②人に迷惑をかけない③気づく心を育てる。という具体的な行動目標も提案されました。

また、生徒会長から校門一礼の仕方について動画を見せながら説明してくれました。新生山中をさらによい学校にしようという生徒会の意気込みを感じました。

